

自然教室だより

11月 秋の奈良公園自然観察会・紅葉狩り

辻本 信一

平成30年11月26日(月)、紅葉狩りを楽しむべく、奈良公園において今年最後の自然観察会を実施いたしました。午前10時、近鉄奈良駅行基像前集合。参加者は13名。【本日の参加者一同】



【本日の参加者一同】

観察ルートは、東向き商店街より奈良基督教会横の坂道を上り、興福寺(中金堂)、国立博物館、浮雲園地、吉城川、春日野園地、七重塔跡、大仏殿鏡池、大仏池と巡るコース。その間の観察ポイントを以下写真と共に説明させていただきます。

① これまで何気なく通過していた奈良基督教会横の坂道は3年前NHKの番組「ブラタモリ」でも紹介された高低差10mもある名立たる断層「奈良盆地東縁断層帯」。今回改めてこの地形をみんなで観察いたしました。【地形図で断層帯確認】



【地形図で断層帯確認】

② 興福寺境内に入り、いきなり目に飛び込んできたのは真っ赤に色づいたイロハモミジの紅葉。

イロハニホヘトの掛け声とともに名前のいわれとなった7つに裂けた葉と特徴となる葉の縁の重なり合うギザギザ重鋸歯を確認しました。【イロハモミジの見事な紅葉】



【イロハモミジの見事な紅葉】

③ 国立博物館の見える広場では鈴生りに実をつけたサイカチに目を奪われます。ここではサイカチの発芽の手助けをと言うサイカチマルゾウムシの話が披露。また羽状複葉の中でも比較的少ない小葉が偶数からなる偶数羽状複葉の形を観察しました。【鈴生りのサイカチの実】



【鈴生りのサイカチの実】

④ 東大寺参道に入り吉城川沿いのイロハモミジの紅葉がこれまた絶景。どちらも写真を撮るのに夢中となっている観光客で人だかり。



【紅葉の下でハイポーズ】

⑤ 春日野園地東側のあずまやで昼食。その場をお借りし、この時期にしか楽しめないドングリ見本の製作をおこないました。ドングリは全部で10種類。どれも平城京で今年採取したドングリです。【ドングリ見本製作】



【ドングリ見本製作】

⑥ 更に七重塔跡近くの川沿いでも見事な紅葉の前で記念撮影。最近の異常気象では自然相手の観察会の日には決めは至難の業ですが、春先に決めた今回の紅葉狩りは奇跡的にドンピシャ。この日を設定して今日ばかりは鼻高々。



【参加者一同大満足】

⑦ 東大寺大仏殿前の鏡池周辺では、イロハモミジに負けじと色づく、信じられない様な百日紅の見事な紅葉にも巡りあえました。



【百日紅の紅葉】

⑧ 観察会終盤には、四葉のクローバー以上に見つけにくいとされるラップイチョウの葉をみんなで拾い集め、多い人で4~5枚のラップイチョウを集められました。



【ラップイチョウ拾い】

紅葉狩りの副題はつきましたが、自然教室の本領発揮、サプライズでドングリ見本を作っていただき、参加された皆さまにも大好評でした。

これからも皆さまに喜んでいただけるよう、常に何らかの工夫をして参りたいとぞんじます。

楽しい企画満載の自然観察会に皆さまも是非ご参加ください。